



ノルウェー・ジャンクルーズライン日本地域代表に矢島隆彦氏



2023年9月11日(東京) - 56年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきたノルウェー・ジャンクルーズライン(NCL)が、9月11日付で矢島隆彦氏を日本地域代表に任命。これによりNCLは日本市場における安定成長を今後も継続させていきます。

矢島氏はノルウェー・ジャンクルーズラインのベン・エンジェル アジア太平洋地区副社長兼マネージング・ディレクター直属として、日本の旅行業界にむけた販売戦略および営業活動推進の責任者となります。3年間のアジア運航停止を経て、改装を終えたばかりのノルウェー・ジャン ジュエルで2023年10月19日、東京国際クルーズターミナル初出航となる待望のアジア運航を再開するタイミングでの就任となります。

過去の職歴はニューヨーク、シンガポール、東京を舞台に、フォーシーズンズ ホテルズ&リゾーツでのセールス関連業務を始め、スターウッド・ホテルズ&リゾーツ、マリオット インターナショナルでは統括営業本部長、直近ではアメリカン航空で日本地区代表・営業本部長を勤め、インターナショナルなトラベルブランドで30年以上のキャリアを積んできました。



ベン・エンジェル アジア太平洋地区副社長兼マネージング・ディレクターは、「日本は NCL にとって常にとても重要な市場です。日本の旅行業界における豊富な経験と、グローバルなトラベルブランドにおける優れた指導力を兼ね備えている矢島氏は、日本市場での私共ブランドの確立と強化という継続的取り組みには最適な人材です。彼が我々のチームにとって重要な戦力となることを確信し、また NCL に迎えることをうれしく思います」としています。

コーポレート、レジャー、MICE を含めたホテルと航空部門に幅広いネットワークを持つ氏は、これまでもセールス、マーケティング、ディストリビューションにおける独自の戦略的アプローチによって、販売実績において大きな成功を収めてきました。

就任に先立って矢島新日本地域代表は、「日本における NCL の業務の先陣に立って、ホテルや航空業界での豊富な経験を生かせる機会をいただけますこと大変喜ばしく思います。来月のノルウェー جان ジュエルの日本再寄港は、約 3 年ぶりの NCL のアジアでの運航復帰となり、日本市場でプレゼンスとコミットメントを再確立する重要なマイルストーンとなるものです。プリマクラス2隻目、そして受賞歴ある保有船の 19 隻目となるノルウェー ジャン ビバの就航と合わせて、日本の業界パートナーの皆様に NCL の商品を紹介する機会を楽しみにしています」と、抱負を語っています。

NCL は 3 年間のアジア運航停止を経て、改装を終えたばかりのノルウェー ジャン ジュエルで 2023 年 10 月 19 日、東京国際クルーズターミナル初出航となる待望のアジア運航を再開させます。

[ノルウェー ジャン ジュエルによる 6 ヶ月にわたる長期のアジアシーズン](#)は 16 本。11 カ国を訪れ 9 ツモの異なる港から出航し、没入的で様々な寄港地を巡るクルーズです。2023 年 10 月 19 日、2024 年 3 月 11 日、31 日発のクルーズは東京から。大阪、高知、神戸、名古屋といった代表的な港を巡ります。

このシーズン中にはフィリピンのマニラ、韓国のソウル(仁川)、その他以下の6つの港へ初寄港します。

- フィリピン: マニラ、ボロカイ、パラワン、サロマグ
- インドネシア: ビンタン島
- 台湾: 花蓮

この中でもハイライトとなるのは、[2024 年 3 月のソウルからのクルーズ](#)。済州島にも寄港します。

一部のクルーズでは、東京、台北、シンガポールといった都市に3泊 4 日するクルーズ前没入型寄港地ツアー、[NCL クルーズツアー](#)と一緒に組み合わせることができます。





またノルウェー جان スピリットは、2024年5月26日東京に初寄港。[東京から台湾の台北\(基隆\)までの、神戸、高知、名古屋、富士山\(清水\)へ寄港する10泊クルーズ](#)を実施します。

ノルウェー ジャン スピリットの [2024/2025年8ヶ月間のアジアシーズン](#)では、2024年9月から2025年の間、マニラ、シンガポール、台北(基隆)、東京、ソウル(仁川)を含む5つの港を出航する14本のクルーズの一部で日本の港に寄港します。

ハイライトは、そのうち [5本が東京発](#)。そのうち2024年10月1日、23日、11月4日と2024年3月23日からの4本のクルーズが韓国に寄港。2024年11月26日のクルーズでは[香港とフィリピン](#)に寄港します。

ノルウェー ジャンクルーズラインの受賞歴に輝く19隻の客船と世界各地のクルーズについての詳細および予約は <https://www.ncl.com/jp/ja/>

ノルウェー ジャンクルーズラインについて

ノルウェー ジャンクルーズラインはその56年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズバケーションを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全19隻の保有船が、ノルウェー ジャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ(バハマ)やハーベストケイ(ベリーズ)を始め、400もの世界の人気のデスティネーションを隈なく巡っています。ノルウェー ジャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンターテイメントとダイニングオプション、さらには1人旅用ステートルーム、クラブバルコニースイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェー ジャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook、Instagram、Tik Tok、YouTube は @NorwegianCruiseLine。Twitter は @CruiseNorwegian。

画像提供はノルウェー ジャンクルーズライン

【発行元】ノルウェー ジャンクルーズライン PR 株式会社フレア

